

被災地と、みんなを結ぶ

つながるう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

集中豪雨が各地で発生しています！ しっかり守りを固めてください！！

山口・島根をはじめ、各地で記録的な集中豪雨が発生し、住宅への浸水や土砂崩れなどの大きな被害がでています。まだ行方不明の方の捜索も続いており深刻な状況が続いています。亡くなられた方々のご冥福と被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

各地域でも豪雨が発生していますので、どうかくれぐれもご注意いただくようお願いいたします。連合本部としては、被災地域の地方連合会と連携をとらせていただきます。

そのような中、大変ご無沙汰して申し訳ありませんが、久しぶりに「絆ニュース」を発行させていただきます。

被災地のその後の状況を自分の目で確かめようと休暇を利用して現地を旅した連合本部・鈴木敦夫氏（労働条件・中小労働対策局）のレポートをお届けします。

仙台からレンタカーで、東松島市、石巻市、女川町、南三陸町、気仙沼市と、できる限り湾岸を通りながら回ってきた模様です。5月上旬のものなので、その後の変化もあることと思いますが、ぜひご覧下さい。

また同様な現地情報を連合本部へお寄せ頂きますようお願いいたします！

【東松島市野蒜（のびる）付近】

被害の甚大だった野蒜近辺、仙石線野蒜駅舎はまだ復旧しておらず、仙石線は不通となったままです。「仙石線を元ルートで早期復旧を！」の横断幕が駅舎にかかっていました。



【東松島市大曲付近】

ボランティアセンターのあった大曲地区コミュニティセンター。毎日ここに通っては、南方に広がる瓦礫や泥に圧倒されていました。現在は瓦礫やヘドロは除去され、電線も敷設され、畑作もできるようになっていました。



2011年6月



2013年5月

【東松島市赤井付近】

フェンスはなぎ倒され、水路横はえぐられて土がむき出しとなっていた陸前赤井駅近くの水路、今は草が生い茂ったものの、倒れたままのフェンスも残っていました。



2011年5月



2013年5月

【石巻市付近】

石巻市にある、日本製紙石巻工場出入り口の様子。震災後、片側2車線の道路は海側の2車線を封鎖し1車線ずつの対面通行でしたが、今は元の片側2車線道路に戻っています。海側に積まれていた瓦礫の山はなくなりつつあります。工場内の敷地も、昨年8月末には、生産設備6ラインがすべて復旧しているそうです。



2011年5月



2013年5月

【石巻市～女川町】



以前は、瓦礫を運ぶダンプカーが往来していましたが、今では瓦礫はおろか、街並みすらも無くなっています。すれ違うダンプカーは、土砂を運ぶものが多かったです。所々にある建物は、津波の悲惨さを伝えるために残っているような印象を受けました。

←数少ない建物の多くは崩壊している

【南三陸町～気仙沼市】

途中、「ココサカエル」と書かれた仮設商店街がありました。「まついわ福幸マート ココサカエル」は「ここさ帰る」と「ここ栄える」をかけているそうです。震災により甚大な被害を受けた松岩古谷館地区に明かりを灯そうと、地元の方々が中心となって運営しているそうです。



<各地域を訪問した感想>

被災地の多くは、瓦礫などは無くなっているものの、更地が目立って土の色が印象に残っています。土地区画整理事業を実施する問題もあるのだと思いますが、いつ始まるのか、何ともやるせなさが残ります。また東京にいと、震災関連報道は激減していますが、この地域では毎日震災関連の報道が続いています。ローカルFM ラジオを流しながら回りましたが、流れてくる音楽は「亡くなった〇〇さんが好きだった・・・」というリクエストが続きます。ニュース番組でも、震災に関する情報が流れていました。復興にはまだまだ時間がかかるかと思いますが、今後もこの地を訪れ、どのように変わっていくのか、どのように復興していくのか、見続けていきたいと思っています。

以上

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！
連合連帯活動局・西野 TEL03-5295-0513 FAX03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp